



桜中だより



坂戸市立桜中学校
令和5年8月29日
【第5号】

校訓 「自主・澆刺」	学校教育目標 自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成	生徒数 1年生 92名 2年生 100名 3年生 113名 全校 305名
----------------------	-------------------------------------	---

2学期開始（2学期始業式の話）

38日間の夏休みが終わりました。今年の夏休みをどのように過ごしましたか。「行動制限のない夏」猛暑日が続くなど「厳しい暑さ」でした。「何言ってるんですか。ほとんど勉強していました」という3年生もいるのではないのでしょうか。今年も、夏休み中3年生を対象に図書室を学習の場所を提供することを目的に開放しました。今年も、延べ人数では昨年度を大きく上回りました。「自ら進んで学習する」姿勢はとて素晴らしいことです。「自習」できる生徒は学力が伸びるとも言われています（もちろん初めは教えてもらうことは言うまでもありませんが）。冬休みも実施します。ぜひ活用してください。以下、始業式の日、私が話した内容です（一部抜粋）。

おはようございます。38日間の夏休みでした。今年の夏は、7月から、猛暑の日がとて多くありました。1898年の統計観測以降、平均気温が最も高くなる見込みだそうです。まだまだ気温が30℃を越えるどころか、35℃に迫る日もあるかもしれません。また、今年も、台風が日本に近づくことが多くなるとも言われています。自然には逆らえません。その都度その都度対応していかなければならないと思います。2学期の始業式には毎回言っていますが、授業日は、80日間です。季節を3つまたぐ最も長い学期が2学期です。後半には、雪が舞う日もあるかもしれません。この80日間には、合唱祭を10月に予定しています。3年生は、言うまでもなく今学期の終わりには、ほぼ志望校が決まってくることになります。2年生については、12月に修学旅行が予定されています。1・2年生の運動部員は、新人戦まで3週間余りです。それぞれの学年に応じてしっかりと計画を立てて、1日1日を大切に過ごしてください。

さて、今日から2学期が始まり、明日から授業が始まります。毎日時間がたっぷりあった夏休みの生活から、分刻みの学校生活に戻りますので、なかなかペースが戻らないかもしれません。朝早く決まった時間に起きるとか、明日の学校の準備をしないと、決まった宿題をしないと、そういうことが今まで

以上に面倒に思えたり、なかなかやる気になれなかったりするのではないのでしょうか。そこで、そのような時のコツを紹介します。ある書籍を参考に話をします。家で勉強しようと思っても、なかなか取り掛かれない時があると思います。好きなことならさっさと始められるのに、好きでないことはすぐに取り掛かれないものです。その結果、夜遅くになってから、宿題をやることになったり、朝慌てて準備したりすることになります。これはとても大変なことです。そんな時に「とりあえず1分間だけやろう」と思ってやることです。1分間ですから、無理ではないはずです。1分間だけやってみて、どうしてもだめなら、一度やめてみる。そして、また1分間やってみる。もし2分できたら、それはそれでいいことです。次に2分間やってみる。というように、少しずつ時間を増やしましょう。全くやらないよりマシです。人はやるのが嫌だと思うのは、そのこと自体が好きでないこともありますが、「続ける」ことが嫌だという理由があります。あまり好きでないことでも「ほんのちょっとだけやればいい」とわかっていれば、始めることはそんなに大変ではないはずです。

しかし、「1分間だけ」では結局何も進まないではないかと心配になるかもしれません。人は、いったん始めると、意外に続けられるものです。だから「続けられるかどうか」よりも「少しだけやろう」という気持ちで初めてみてください。それが、成功への道です。「1分間スタート」で「半歩前進」してください。皆さんが充実した2学期になりことを期待しています。

参考文献 マイケル・ボルダック「目標達成する技術」(フォレスト出版)

学校総合体育大会県大会、関東大会、全国大会、結果

陸上競技部	800m	3年男子	→ 予選敗退
	1500m	2年男子	→ 予選敗退
	2年男子	100m	→ 予選敗退
		〃	→ 予選敗退
	走り幅跳び	2年男子	→ 予選敗退
	800m	1年女子	→ 予選敗退
	ソフトボール部	初戦敗退	
男子卓球部	シングルス		→ 初戦敗退
女子卓球部	団体	→ 初戦敗退	
	シングルス		→ 第9位 → 【関東大会へ】 → 初戦敗退 → 2回戦敗退
男子バレーボール部	優勝→【関東大会へ】→ベスト8 【全国大会へ】全国大会決勝トーナメント惜敗。 男子バレーボール部の皆さん夏休みの最後まで、お疲れさまでした。		

